

その他の事業のその他における激突され災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	7~8	綱取り作業中、船尾のロープを小型ボートで引っ張っている時に、外航船舶が急にプロペラを回した為、ロープがプロペラに絡まり、引っ張られて、そのとき一緒に小型ボートもプロペラ付近まで急速に引っ張られ、外航船舶の船尾に接触して一気に傾き転覆し、沈没した。	74	30~49
1	8~9	右手でハンマーを持って、ブロックの上を叩く時、誤って右手の小指を叩いてしまい、爪がとれた。	37	1~9
3	18~19	ヘルパー出張先の牛舎で搾乳作業中、暴れる乳牛の頭を固定しようとした際に、乳牛の頭と柵の間に右手小指が挟まった。	59	10~29
3	12~13	会議室の片すみに立てて置いてあった会議テーブル4台のうち、2台を別の会議室に移動するため引き寄せ取り出そうとしたところ、会議テーブルが転倒し左足に当たり、第1指・第2指・第3指を骨折した。	29	100~299
3	11~12	水道施設点検の研修中、ポンプ所へ通じる坂道において小雨の中3台の車で通行中、2台の車は坂道の途中で停車し、1台は坂道上に停車していたが坂道上の車が動き出し、坂道をすべるようになりてきて、前の車に衝突した。その弾みで3代目の車に足を挟まれ負傷した。なお、全員車外に出ていた。	68	1~9
4	13~14	レース発走のため競走馬をゲート内へ枠入れ作業中、当人が競走馬の後方より馬具を使って促していたところ、競走馬が不意に後退して蹴り、当人の右肘に当たり負傷した。	26	30~49
4	11~12	会社で作業をしていたところ、ヘルメットをかぶっておらず、ユニックのつりあげ部分で頭を打ち、その後、後遺症が出た。	67	10~29
		被災者は、請負現場で配達物の入った台車をチェックする作業に従事していた。		

5	16~ 17	台車の往来の多いエレベーター前でチェック作業をしていたとき、請負元の社員が台車をエレベーターから搬出しようと、出口付近を確認せずに押し出したところ、作業していた被災者の右膝に台車がぶつかった。	41	100 ~ 299
5	18~ 19	第8レースにおいて、ゲート内に馬が入った後に、ゲートの扉を閉めようとした際にゲート内にいた馬の後肢で、左足膝を蹴られ裂傷と打撲を負った。	45	50~ 99
5	8~9	体育館で児童指導中、子どもが蹴ったドッジボールが目に当たった。	25	1000 ~ 9999
6	17~ 18	座って子供に紙芝居を読んでいたところ、後ろに立て掛けてあった折り畳み式の鉄棒が倒れてきて、後頭部にぶつかった。	39	10~ 29
6	10~ 11	コンテナの右側の扉を閉める時に。一部コンテナ内部のパレットが少し前面に出ており、そのパレットをコンテナ内部に押し込む為、強く扉を閉めた時に扉固定ハンドルがコンテナ下方のフックに当たり、右回転し右手薬指に当たった。	50	30~ 49
6	16~ 17	会社構内に設置してある廃材コンテナの中を整理している時、同僚が投入したタイル廃材が右手首に当たり怪我をした。	53	1~9
7	18~19	会社の駐車場で、荷卸しの作業を開始しようとして、トラックの後ろの扉を開けたところ、扉がはね返って顔面（額）に当たり受傷した。	61	10~ 29
7	16~17	当寺院内にある倉庫において、棚卸しで線香の数を確認するためダンボールを開けた際、ダンボールの蓋の角が左目の眼球に当たり負傷した。	69	50~ 99
7	13~14	樹木伐採作業をしていた時、伐採後の横たわった樹木の枝処理中、支点となっていた枝を切った際に、樹木本体のバランスが崩れ、他の枝が身体に接触し、右腕と右足を負傷した。	56	10~ 29
7	20~21	倉庫内の入荷した商品を置くスペースで確認作業中に建物の柱付近の作業場から別の作業場へ移動しようとしたところ、建物の柱が死角となり、倉庫内走行中のリフトと接触してしまう。その際、左足に痛みを感じた。	27	30~ 49
	9~	出入り口付近にて乳用牛をパドック内から草地へ放牧作業中、複数の乳用牛が突如暴れ出し、被災者に向かって走り出したため、パドック外側へ逃げようとした		50~

7	10	が間に合わず乳用牛に突き飛ばされ、頭部をパドック柵へ打ち付け、頭部、首、胸部などを負傷した。	66	99
7	15～ 16	配送センターの倉庫内で作業中の被災者が、商品（会議テーブル）が縦積みされたカゴ台車付近を通行したとき、カゴ台車から倒れてきた商品とぶつかり、骨盤を骨折した。	67	10～ 29
7	10～ 11	ゴルフ場内で草刈り作業中に、プレイヤーの打球が左手甲に当たって激痛がはしり、打撲箇所が腫れてきたため、当日に整形外科を受診したところ、左手小指と薬指を骨折していると診断された。	69	10～ 29
7	10～ 11	病室で患者のベッドシート交換作業をしていたとき、病棟スタッフが、患者が乗ったストレッチャーを押して後方を通過しようとしたところ、左足首にストレッチャーの車輪カバー部分が当たって負傷した。	60	10～ 29
7	17～ 18	本社倉庫にて、検品作業をしていたとき、フォークリフトのリフトマン（同僚）が後方確認をせずにバックし、自分もそれに気づけなかったため、右足がタイヤに轢かれ負傷した。	67	10～ 29
7	13～ 14	台船の接岸時、係留ロープの受け渡し中に、船のタイヤと既設防舷材に左足を挟まれ、足の甲（前半分）を多発開放骨折した。	55	100 ～ 299
9	14～ 15	被災者は、ドライドックNo.5にて、他の作業員とエアインパクトを使用し、シャフトボルトを締めていた、他の作業員が操作し、被災者は作業員の横で支えていた、作業員がエアインパクトを次のボルトに移動した際、スイッチに無意識に触れるか動かしてしまい、エアインパクトがリバースモードになった。そのまま作業員が操作レバーを握った際、エアインパクトが逆方向に作動し、被災者の顔に当たった。その際、顔面打撲、上下唇裂傷及び歯の一部を欠損した。	26	1000 ～ 9999
9	11～ 12	図書館のカウンター業務中、利用者様より返却された紙しばいが左目に当たり、その後だんだんと腫れてきた。	41	50～ 99
		弊社ビルのエレベータ内に於いて、印刷物を載せるコンテナ（600mm×900mm×1364mm）をB1階から6階へ移動させようと、エレベータ		

9	10～ 11	に乗ろうとした所、エレベータ内が混んでいた為、一緒に乗っていた男性がフォーしてくれ男性がコンテナをエレベータ内に引き寄せようとした際に、どこかに手を挟んで負傷した。咄嗟の事でどこに挟まれて負傷したのかは不明。	39	1～9
9	15～ 16	リネンをカートに乗せ、所定場所に移動の際、出入口ドアを開けカートを運んだが少し勾配があり、カートが動きドアが閉まり足を挟んだ。	62	—
10	8～9	当競馬場、当厩舎付近を、(牝2歳)の引き運動中、同馬が何かに驚き急に暴れた際に、右腕、右大腿骨を蹴られる負傷をしたものである。	47	1～9
10	18～ 19	出航予定の船の、出港作業のため、24ビットでもや(緊船ロープ)を外す作業中、T-7バース着岸船船首側のもや2本と、T-6バースの本船もや4本が24ビットで合もや(両方のもやが掛かっている状態)になっており、本船もや4本中3本が緩み、本船出港スタンバイとなったため、被災者と他1名にて作業に入り、他者が緩んだもやを引っ張り手繰り、被災者がビットからもやを外していたところ、1本目を外し2本目を外すときT-7の船のもや(直径約10センチ)が跳ね上がり被災者の左足頸に当たり受傷した。	37	10～ 29
11	14～ 15	出かけるために車を暖機しようとマニュアル車(軽自動車)のクラッチに左足を乗せて(身体と右足は車外)鍵を回したところ、ギアがローに入っていたため車が発進し、左足が引っ張られ足首を受傷した。	24	100 ～ 299
11	16～ 17	社内研修の一環として、ローラースケート場でローラーブレードを装着しチーム対抗戦を行っていたところ、自身がブレーキをかけた間際に後方から滑って来たメンバーと接触し、その勢いで壁に激突して足を負傷した。研修は通常出勤扱いである。	30	500 ～ 999
11	21～ 22	作業現場であるゴルフ場において、獣害対策作業の為コース内を軽トラックで巡回していた時に、軽トラックが泥濘にはまり、泥濘から出そうと軽トラックを押していたら、動き出した軽トラックに左足を轢かれ受傷した。	30	10～ 29
11	11～ 12	ビル敷地内で廃棄物入れの自動投棄口を開けようとしたが、カギが引っ掛かって開かなかったため、鉄アレイで4～5回カギの部分を押したが、誤って右小指の付け根を強打してしまった。	45	1000 ～ 9999

12	10~11	被災職員は当日、一人でフリーストール牛舎の牛床に消毒用のドロマイトを散布していたが、背後から牛に背中を頭部で押されて倒れてしまった。その後、牛の頭部で体を1mほど前の方へ押されたうえ、左肩甲骨のあたりを前足で押された。隙を見て向かいの牛床へ逃げたが、鼻血が出ており、左胸と左上1番の歯に痛みがあったので病院を受診した。	67	50~ 99
12	10~11	当社業務請負先敷地の屋外にて、空オリコン整理のために運行されていたフォークリフトが後方を確認せずバック走行したため、歩いていた被災者に気づかずに接触してしまい、被災者が受傷した。	48	10~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html